

第4回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会  
教育活動・学校事務部会 (会議録)

|         |   |
|---------|---|
| 会議の名称   | 第4回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会教育活動・学校事務部会  |
| 開催日時    | 令和5年10月11日 午後7時から   |
| 開催場所    | 上矢作中学校 ワークスペース  |
| 報告・協議   | <ul style="list-style-type: none"><li>・課題21「学校図書館に関すること」について(報告)</li><li>・課題19「交流事業に関すること」</li><li>・(事前説明)地域を学ぶ学習について</li><li>・次回の教育活動・学校事務部会について</li></ul>   |
| 公開非公開の別 | 公開  |
| 出席者     | 委員<br>平林 道博<br>大嶋 達也<br>夏目 裕行<br>丸山 福美<br>荻山 勝<br>片桐 宣伸<br>篠原 徹<br>市岡 早苗<br>後藤 加代子<br>加藤 淳<br>吉田 真弓<br>中垣 野歩<br>荻山 俊一<br>梶屋 明広<br>松井 克仁<br>三浦 祐揮<br>松村 亜希子<br>榎本 草平<br>田中 貢治<br>鰐部 靖子<br>教育委員会<br>青木 茂<br>各務 恵美<br>小木曾健太<br>岩島 慶尚<br>小島光太郎<br>市川 太一 |
| 会議の内容   | 会議録のとおり   |

傍聴者の数 2名

事務局 聞きたい方が、傍聴になかなか来られない方で聞きたい方がいるということで、音声のみの同時配信を行うということで理事会のほうで決定されました。ということで、今日そちらのほうにマイクがあるんですが、ユーチューブの同時配信、音声のみになります。行います。ご承知おきをお願いします。

次に、皆さんのところに、第4回教育活動・学校事務部会の資料。学校図書に関するこの資料のほうは郵送されておるかと思うんですが、もし今日お忘れの方で必要だよという方がおりましたらお申し出ください。画面のほうでも示しながらお話ししますので、特になくとも困ることはないかと思いますが、もし必要でありましたら、よろしくお願いをします。

以上のほうで、事務局からの連絡を終わります。

司 会 ありがとうございます。それでは、1の部会長挨拶ということですが。

部会長 皆さん、こんばんは。

朝晩随分冷え込むようになりまして、学校でも体調を崩す子がちらほらおるといった状況で心配しておるところです。今夜も随分寒いようですけども、皆様方、一日のお仕事の終わりにお疲れのところ、ご参加いただきまして誠にありがとうございます。

本日の教育活動・学校事務部会ですけども、大きく議題が2つございます。1つは、前回いろいろなご意見を出していただきました学校図書館につきまして、事務局からそのまとめを聞くというところでございます。もう一つは、交流事業ですね。主に小学校、中学校も含まれますけど、交流事業、統合前の交流事業をどう進めていったらいいか。これについて、またご意見を頂戴いたしたいと思っております。

前回の学校図書館につきましても、長らく現場におりますと、もう固定観念がついてしまって、学校図書館というのはこういうものだということにいろいろなご意見いただいて、地域のニーズ、皆様方のニーズをつかむという点でも、統合は別にしても、私自身、大変勉強になったところでございます。今回も交流事業につきまして皆様方の忌憚のないご意見を広くいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いをいたします。

司 会 ありがとうございます。それでは早速議題のほうへ移らせていただきます。

まず、(1) 課題21の「学校図書に関すること」について、事務局のほうよりよろしくお願いをします。

事務局 (課題21「学校図書に関すること」について報告。)

司 会 ありがとうございます。何か今の話について、お気づきの点等、何かございますでしょうか。

委 員 はい、お願いします。

司 会 はい、どうぞ。ありがとうございます。

委 員 前回の報告の中身が3つなんですよね。広いスペースが必要、利用しやすい環境づくり、快適な空間づくりということなんですけど。極めて抽象的なんです

よね。特に、今一番問題なのはインテリアとかソフト面じゃなくて、どういう、例えば広いスペースが必要って言うてますけど、広いなんていうことは極めて人によって考え方が違いますよね。この前の話だと、例えば山岡中学校のランチルームを改造してつくるとか、そういう具体的な話があったんですけど、こういう3つのことを提言として伝えるにしても、これ、環境部会のほうで受け止められますかね、この3つを。

何か具体的な提言なら、環境部会もそれを審議できると思うんですけど、これを言われても、一体、環境部会として何を考えたらいいなってこと分からないんじゃないですかね。広い空間が必要とか、明るく広い空間が必要とか、外部からもアクセスしやすい場所。結局ここで話し合ったことが伝わらないんじゃないかと思うんですけど、どんなもんですかね。

司 会 ありがとうございます。その辺りについてはいかがでしょうか。

事務局 そうですね。こちらは大きくまとめた意見として、こういったふうにお伝えさせていただくんですけども、細かな皆さんからいただいた、それぞれ1つずつのご意見も環境部会の事務局のほうにはお伝えさせていただいております。現段階では、まだ細かなレイアウトですとか、そういった部分については、まだ設計のほうに反映する基本設計と言いまして、現段階では、大まかな配置ですとかいったところを設計しておりますので、まだ細かな部分は、今後検討していきたいなというふうに考えておりました。

実は環境部会のほうでも、意見としてランチルームを図書館にといったご意見が出ているというふうには聞いております。ですので、そうですね、具体的にこちらが、この場所だというふうにお示しすることもできたんですけども、まだ環境部会のほうで、そうですね、何て言ったらいいんでしょうね。

司 会 ちょっと伝わり切らないというふうにご心配して下さったということですが、そういう、前回の会議で出た内容については、環境部会さんのほうにも伝わる、伝わっているというか、そういうことでよろしいのでしょうか。

事務局 そうですね。まだ次回の会議が行われてないのと、あと、たくさんのご意見いただきましたので、その一つ一つを環境部会の部員の皆さんに、全部これを見てくださいというふうにお伝えするかどうかは、ちょっとまだ検討しておりますけれども。

事務局 事務局同士では、広いスペースということで、当然、今よりも広いスペースということで。この間も、ランチルームの1階という話と、それから新設して新しい場所作れないかという話が出たかと思うんですが、そういったことで広い場所については一応伝えてはおります。何とか広いスペース確保できるようにお願いはしておるところです。ただ、環境部会のほうで、増築する場所について細かなところを結局、決め切れなかったのが、ちょっと入り切らないというか、そこの議論まで行かなかったというのが現状でございます。

委 員 結論からいうと、結局、環境部会任せっちゃうことですよ。

事務局 いや、広い場所については、必ず確保できるようにお願いしてあります。

委 員 違う。組織でいうと、幹事会というのがあるわけですけど、そこでちゃんと環

境部会に伝えるというような受け身のなさ、環境部会が決定権持つとるわけでしょう。

事務局 環境部会に伝えていくということなので、そこで反映してもらうように、こちらから強い要望していく感じですけど。

委員 じゃあ、幹事会を開いてもらえますか、きちっと。

事務局 幹事会開くということをあれですね、提案として持ってけばいいですね。ありがとうございます。

司会 はい、ありがとうございます。ほかの内容ではよろしいでしょうか。

では、前回皆さんにご意見いただいた内容もまた伝えていただきながら、反映していただけるような形でお願いしたいなというふうに思います。ありがとうございます。

それでは、(2)の「交流事業に関すること」のほうに移らせていただきます。では、事務局のほうでよろしく願いいたします。

事務局 (課題19「交流事業に関すること」について説明。)

司会 ありがとうございます。それでは、今いろんな状況のお話をお聞かせいただきました。

事務局 進め方について、ちょっと。

司会 はい、よろしく願いします。

事務局 本日、机の上に、こちらのA3版の紙を2枚ずつと、こちらの縮小版のA4版の紙を、それぞれ皆様の机の上に置いてあるかと思います。事前にお送りした紙の中で、交流事業のアイデアをお願いしますということで書いてきてくださった方もいらっしゃるかと思うので、まず5分間ぐらいで、それぞれが考えてきてくださったアイデアについてA4版の各自の紙にまとめていただきます。その後、こんなこと考えたということで、こちらのA3版のほうに、意見を出し合いながらグループごとにまとめていただきたいと思います。30分ぐらい予定しておりますので、8時ぐらいをめどにグループで話し合いをしていただき、まとめていただきたいと思います。その後、それぞれのグループでまた発表していただくという流れにしたいと思います。

前回同様、グループの中で、司会者、記録者、それから発表者を決めていただいて進めていただければというふうに思います。よろしく願いします。

司会 ありがとうございます。それでは、活動に入りたいと思いますので、各グループでよろしく願いいたします。

#### 「交流事業に関すること」について～グループ討議～

司会 では、お話が盛り上がっているかと存じますが、一応8時も過ぎましたので、それぞれのグループで発表の方お願いしたいと思います。

では、前回Aグループから発表していただいたので、自分がAなので言ってるわけではないんですけど、Dのほうから、よろしく願いします。

Dグループ発表者

たくさん意見が出たんですけど、全部一つ一つ言っているとたくさんなってしまいますので、大きく分けて4つかなと思います。

1つ目が、体を動かす球技大会とかスポーツイベント、それ系です。やっぱ体を動かすということで関わりも増えますし、仲がより深まるかなということで。例えば、小学校の5、6年生。今年度実施はちょっと難しいと思うので、来年度を想定すると、小学校5、6年生対象で、例えば、ドッジボールとか鬼ごっことか、あるいは球技大会系のものを企画することで。というのが1つです。

2つ目は、今度はふるさと学級発表会のような、お国自慢発表会というんですかね。それぞれ5つの地域の学校紹介とか、あるいは地元の自慢紹介、5つの地域のそれぞれのいいところを紹介したり。あるいは、その中で合唱交流なんかをするのもいいかなということ。あるいは、ちょっとふるさととは離れますけど、百人一首とかカルタ大会、そういうイベントも集まってやれるかなということを思います。

これのよさというと、やっぱり統合したときの、互いの学校や地域の特徴が分かることが挙げられますし、集まったときに、例えば統合中学校、自分たちが行く中学校の学校構想とか、こんな学校ができるよとか、そんなイメージ、そういうような話を聞くことで、統合に向けての意欲とかイメージが子どもたちが持てるかなということを思います。

そして3つ目が、宿泊研修とか修学旅行を一緒に行くといいのではないかと。人数の大小が、多い少ないがありますけど。特に今の6年生なんかでいくと、中3でいきなり統合して修学旅行というふうになってしまうので。例えば、中学校2年生のときの宿泊研修で一緒に行くとか、そういったことも考えられます。宿泊研修、修学旅行等を合同で行くという案です。

最後ですが、何かさっきの瑞浪北中学校の例でもあったんですが、1つのもの、作品を1個作る。それぞれの学校でちょっとパーツごとを作って、それを合わせると何か1個、ばんとでかい作品ができるというような、作品づくり、ものづくりの交流なんかもいいのではないかという案が出ました。

以上です。

司 会 ありがとうございます。それでは、Cのグループさん、お願いします。

Cグループ発表者

大きく言うと、今、Dグループで出たような案、うちもいろいろ出てまいりました。大きく分けると3種類になるかなというところなんです。どういう種類になるかなということで行くと、合同で何かを経験したり体験したりするということと、もう一つは、合同で1つのものを、こちらもありましたけど、作り出すというようなもの。そして、これびっくりしたんですけど、もう一つは、直接味わうというもの。

どういうことかというのを考えさせていただくと、例えば合同でというと、合同で地域巡りをしたりとか、各地域にある、そういった施設等でオリエンテーリングをやったりとか。あとスポーツや遊びを通して交流をする。これは小学校でも中学校でもできるかなということからなんですけども。あとは遠足や修

学旅行を一緒に実施する。なかなか宿泊研修難しければ、デイキャンプなんかでお飯を炊いたりとかカレー作ってみんなで食べたりしたりというような活動。これはやっぱり事前にみんなで顔合わせることで、中学校へ行ったときの不安を減らしたり、中学校でもやっぱり仲間意識を持ったりというところ。

で、合同で作り出すというのは何かというと合唱。さっき作品を作るというのがあったんですけども、少ない人数から多くなったときに大きく変わるものというところで、例えば歌声だと、ほんとに少人数から、例えば今度100人単位になると、声量が全然違うので、そういう1つになる喜びというところもあるかなと。みんなで同じものを作るという一体感や、みんなで1つになる楽しみだったりとか、1つになったことの喜びを感じられる、そういうものがあるんじゃないかなというところ。

あともう一つは、やっぱり記念、作品じゃなくて開校記念イベントを各学校で、みんなでグループを作って、作り出していくと。で、開校したときに、合同チームで作った開校イベントを実際にやっていくと。これも開校した年だけじゃなくて、1周年、2周年、3周年と、毎年いろんな、そういったことをやっていくというようなことができるんじゃないかなという、みんなで作り出していくという。

で、直接味わうというのは何かというと、地域の行事に実際に参加してみる。岩村だと秋祭りがあったり、明智も大名行列があったりとか、そこに実際に参加して、子どもたちがそこに入って、全員ではないんですけども、みんなで活動してみる。小学校だったら、ほんとにその行列に加わったりだとか。中学校だったら、実際に行列やお祭りに参加したり、スタッフとしてね、ボランティアで参加したりすることで、実際にその地域を味わっていく。学習とかではなくて、ほんとに肌感という、そういうので味わうというような、そういうのも子どもたちがほかの地域の文化のよさを知っていくというところではいいんじゃないかなということでも出てきました。

いろいろ盛り上がっていくんですけど、準備するのが大変じゃないかというぐらい、みんなが、例えば親までみんな入ってそういった行事をやったりというのも楽しいんじゃないかなということも出てきました。とにかく、みんなで今言ったような、合同で取り組むとか、作り上げるとか、それから直接地域に入って体験するというような、そんなことが僕らのCグループでは出てまいりました。

以上です。

司 会 はい。ありがとうございました。それではBグループの方お願いします。

Bグループ発表者

1つ目が、こども園の園児とのふれあい交流を小中学校合同。対象者が3年後の統合で一緒になる、小学校五、六年生と中学校1年生が、もう各こども園にミックスで、そこに行って子どもたちと触れ合う。今、職業体験とかでやられてるんですけど、学校単位で。そこをいろんな地域から混ぜ合わせてやることで、やっぱり人と人との触れ合いはやっぱり間に人が入るとうまく回ってくよう

にもなりますし、人間性とか優しさをそういうところで追求して深めていけたらと思います。

もう一つは農業体験で、これもまた各学校でやられてるやつを皆さん混ぜて、ごちゃ混ぜミックスで、いろんなところで農業体験やって。もう一個のデイキャンプというものにつながるんですけど、そこで収穫したものとかを、そのデイキャンプを通して、いろいろカレーとかそういうものを作ったりして交流を深めていくというものです。

あと、もう一つが、ゲーム・レクリエーション。先ほども言われてましたスポーツになります。これはもう全学年を通してで。さっき球技とかって言われてたんですけど、やっぱり個々の力があまり、バランスがうまく取れない。誰でもできるようなスポーツで、モルック、ポッチャか。ポッチャとか、誰でも気軽にできて差がない、個人の差があまり出ないような。やっぱり交流になるので、そういったものやっていきたいというのと。

あとは、ウォークラリーですね。5つの地域の文化や特色を学びながら。岩村だったら岩村の中学校の子どもたちが、そこに、ほかの学区から行ったところの子たちを案内して、ここの岩村の町並みがどうだとか、そういうところを地域ごとに、その地域の中学生在案内役として回るという、そういう交流のやり方を。

取りあえず5つになります。はい。

司 会 はい、ありがとうございました。

Aグループ発表者

それでは、Aグループです。今までの3つのグループの皆さんと、ほぼ方向はというか、意見は同じです。具体的に出た内容で言うと、票が多かったのは合唱、それから宿泊体験、修学旅行。それと、スポーツ交流とか球技大会、ゲーム・レクというふうに体を動かしてやる活動ということで。

やはりすごく構えて入るんじゃなく、そういう楽しむとか、一緒に動くとか、そういう中で会話があったり、知り合っていくという部分を大切にしたいなということが1つと。それから、いただいた意見の中ですてきやなというふうにしてたのは、統合して1つになれることのよさを体験できる活動ができるといいねということで。先ほど出た合唱なんかで言いますと、各学校での発表というのももちろんそうだし、1つの同じ歌をみんなが練習してきて、1つ作り上げて、すごく気持ちよさを味わうとか、そういうこともいいよねという話をさせていただきました。

そして、やはり先ほど市の方からの発表であったように、東中、西中さんとかがやっぱり交流やってないという。大人数は無理という部分もあります、当然ありますし、今の5校でも、すぐにみんなができるかといえばできないこともいろいろあって。でも、数年後は5校でできることもまた増えてくるであろうということで、学校さんは大変だと思いますけどって気にしていただきながらも、そうやって変化してく部分もきっとこれから出てくるんじゃないかなというふうに話をしていました。

それで、小さいときから、細かくというか、長くやるわけじゃないけれども、知り合う場をちょっとずつ入れていけるといいのかなという話があって。先ほどおっしゃったように、自分の町紹介であったり、地域の町、笛太鼓を一緒にやるとか。例えば、授業の模擬体験というか、少ない子たちは30人、40人の授業はイメージがつかないので、そういう体験の場があってもいいのかなとか。今現在行ってるZoomで、小さいグループでちょっと知り合っていく部分も、それは割と簡単にできるのかなとかいう話も出て、今後何ができるかなって、ほんとに学校としても何か考えさせていただくいい時間でした。

以上です。

司 会  
部会長

ということで、4つ発表をしていただきましたが、この案を。

はい。失礼します。ありがとうございました。

まとめを4人の方に発表していただきましたが、どれもキーワードは触れ合う、子ども同士が触れ合う、それから体験を通してというところ、それから会話があるということで共通しておったという気がいたします。さらにという点では、1つになるよさを体感するために各地域のよさを味わうというところまで行けるといいということで承りました。

あくまで、この交流活動をするのは何のためかというところ、これは子どもたちのため、もちろんなんですけども、知らない人の中に、集団に入っていくという心理的な障壁を下げるということが一番の目的なので。これから、8年の4月から、新しい学校に希望が持てる、新しい仲間にも希望が持てるとか。特に少人数の学校から大きな集団に入っていくときの恐怖感とか不安、そういったものを少しでも削減してあげられる。これを目的に、まず大きな目的にしたいなというのを聞いてて思いました。

そのためには、皆さんおっしゃるように、ほかの学校の子でも、あの子見たことあるとか、あつ、あの子としゃべったことあるという顔見知りをつくるとか。仲よくなるというところまではとてもいらないかもしれませんが、あの子の顔知ってるわということで、子どもたちの不安を少しでも和らげてやるということが一番大きな目的かなと思います。

そうしますと、今、出されたご意見の中で、体を動かす、スポーツ、球技大会、レクですとか、そういったもの、デイキャンプも含めてですけど。それと、ふるさと紹介。それから、宿泊系や修学旅行。これはAグループにもありましたけど、じゃあ5つの小学校が修学旅行、来年から一緒にできるのかということ、現実的にどうかなというところもあります。それから、作品づくりや作品交流、合唱交流というところ。それから、お互いの地域のよさを知る活動というところは、小学生の段階でやったほうがいいのか、中学生になって統合してからでもできることなのかという切り分け。それから、これはほんとにたくさんアイデアをいただいてよろこんでおるとこなんですけど、ひょっとしてこれは、現実に難しいぞというものが含まれるかもしれません。一度、このいただいたご意見は全て校長会のほうで。私に預けていただいて、小学校の校長先生が集まる会と中学校の校長先生が集まる会とございますので、これ、中学段階でや



ったほうがいいのか、小学校の段階でやったほうがいいのかという切り分け。それから、実現可能なのか、これなかなか難しいのかという、そういう切り分け。それから、統合前に交流したほうがいいのか、統合後でも地域のよさが知れるのかという、そういうカリキュラムが組めるのかという、その辺の学校の判断をする時間をちょっといただきたいなと思うところでございます。

全て小学校長会、中学校長会に持っていきますけども、この中で、これは小学校の段階でやったほうがいいだろう、これは中学校、統合、中学生同士で交流したほうがいいだろうというものを、一度、目安、整理をつけるお時間をいただきたいなと思います。

またこれ報告。

事務局 報告は、はい。部会のところで報告も、時間をぜひ取っていただきたいです。  
部会長 また、その結果をできるだけ早くご報告いたしますので。切り分けた結果を、一度、ご覧いただきたいなと思います。で、皆さん方ご承認いただいてから、もっと実務レベルに下りてきます。教務主任の会でカリキュラム、年間カリキュラム組んでいくとか、来年度以降の交流計画を組んでいくという実務レベルに下ろしていききたいなというふうに考えております。

すみません。上手にまとめられませんが申し訳ないですけど、一度、全て預からせていただきたいと思います。どうもありがとうございます。

司 会 ありがとうございます。

委 員 いいですか。すみません。

司 会 じゃあ。

委 員 これ、予算って。ちょっと全部事業やるのに予算が必要だと思うんですけど、この統合に対して交流の事業の予算って、今、幾ら恵那市のほうで組まれてるんですか。

事務局 まだ実はこの段階の案が出てないので。要するに案を決めていただいて、その後、予算化になります。

委 員 まだ組まれてない。

事務局 まだ、はい。で、交流によっては、お金のかからないこともあれば、それから、ある程度お金がかかることも当然出てくるかと思うので、その辺のところははっきりしない段階では、なかなかまだ予算が組めてこないの。

委 員 となると、事業の。この交流事業って予算組んでからだといつからになるんですか。

事務局 補正が組めるので、9月。当初予算については今すぐですけど、補正が組めま  
すよね、12月、3月で。

事務局 そうですね。一番早い補正が6月になります。

事務局 来年。

委 員 来年の6月。

事務局 はい。なので、案が出てきて、そこ実際問題のところ、組みながらやっていくということが恐らく現実的のところかなと思います。で、バスなんかでいくと、直接スクールバスなんかでお金かけずにできる場合もあったりするので。なの

で、ちょっとその辺のところ、どの程度のところでどういうふうになってるかがちょっと具体化してこないと予算がまだ組めないのが現状です。

委員  
事務局

分かりました。

はい。いただいたものを最大限取り入れながら、交流できるようにしていきたいとは思ってますので。はい。

司会  
委員

よろしいでしょうか。

はい。

司会  
委員

はい、ありがとうございます。お願いします。

図書館活動のこととも関係するんですけども、この部会には決定権はないというふうに事務局はおっしゃいました。ここで決めた提案を幹事会で承認してもらって案になる、決定すると。さらに、それを理事会にかけて決定するというふうに言われましたけど、そういうふうでよろしいでしょうか。

事務局

恐らくそういう、組織として、そういう体になっておりますので、先生がおっしゃられたように幹事会、理事会をやっぱり開かないと、それぞれで例えば部会で開いたことが統一されてこないというか、そういうふうになってくるんだと思いますので、ちょっとその辺の動きについて、また、事務局のほうでちょっと検討させていただいて進めていきたいということで思っておりますが、よろしいでしょうか。

委員  
事務局

はい。じゃあ、これ、とにかく時間がないので。

はい。

委員  
事務局

もっとスピーディーに。

ありがとうございます。

委員

いけるようなことをやってってお願いしたんだけど、こういうふうで。私たちの教育活動・学校事務部会は単なる幹事会に提案するだけであって、それを承認するのは幹事会やちゅうふうに規約で決まっただけですよ。ほんとにこんなペースでやっとならぬ間に合うんですかねということが言いたいんですけど。

事務局

はい。ありがとうございます。スピードアップできるような方向で。やっぱり先生もご心配、ご不安をいただいております。そういうことでご指摘いただいているのは大変ごもっともだと思いますので、私どものほうもいい案、また先生に教えていただきながら。瑞浪でいくと、主幹教諭さんが実働部隊みたいな形で教務主任会動かしたりということでお聞きしました。そういったいい案というか、そういったのをまた先生ぜひ教えていただきながら進めていけるとありがたいなと思っております。ありがとうございます。

委員

さっき部会長が言われたように、学校を預かってる校長さんたちがこれでいいって言ったら、それに対してさ、幹事会とか理事会が、ああのこの言うことではないように思うんだけど。

事務局

はい、分かりました。その辺もちょっと整理させてください。

司会

ありがとうございます。ほかにご意見よろしいでしょうか。はい、お願いします。

委員

2つほどお聞きしたいなということで。前回、図書の関係でいろんな案が出た

と思いますけど、多分、案を出した、アイデアですね、を出しただけかなというふうに思いました。で、改築とかっていうのは環境部会が検討していくという話なので、僕らが出したのはほんとにイメージを出したのかなというところでは、と思いました。で、そのどんな状況になっているかという、環境部会の設計というか、そういうもののイメージが伝えてもらえたら、これまたありがたいなというふうに1つ思います。

事務局 ありがとうございます。次回、今度、環境部会が11月2日ですかね、開かれますので、そこで決まってくるかと思しますので、決まった段階でまた皆さんにお伝えできるようにします。

委員 ありがとうございます。

で、もう一つなんですけど、今日は、改めて今日のレジユメを見ると、課題19に関する事で、前は課題21に対して検討したというふうに思います。ちょっと僕が参加したのは前回と今回なので分かってないだけかと思いますが、議題が幾つあるのかなというのと。

事務局 はい。

委員 もう一つ、こういう会議やりますということで来てる案内の内容と、今回出てくるものがちょっとイメージが違うところがあるので、一致するといいかなど。

事務局 すみませんでした。

委員 2点だけ。

事務局 はい。議題の数が、この部会が8個です、議題が。8議題あります。

委員 あっ、全体の中の幾つかが、課題21とか。

事務局 そうです。このうちの、ここの部会が8個になります。

それから、もう一点が、今、出したお手紙と若干違ってくるとい、今日の話す内容がということですが、大変申し訳ありません。実は私たちの中でも、これプレゼン作る時に、皆さんにやっぱり2週間前ぐらいにはお知らせしなめかんで、そこでお知らせしとるんですが、やっぱり話合いをする中で、何度もやっぱり話合いをするんです。そうすると、どうしてもやっぱり少しづれが出てしまうので、ちょっとそんなことでご迷惑をかけてます。なるべくづれがないようにちょっとしていきたいと思いますが、ちょっとそんなふうで、大変申し訳ございませんでした。

委員 分かりました。それは分かりました。

司会 ありがとうございます。ほかはよろしかったでしょうか。

委員 もう一点だけお願いします。

司会 はい。

委員 統合の方針案とかコンセプトとか理事会のほうで審議して決めたんですが、それってこの専門部員の人に伝わっているんですかね。

事務局 お手紙の中でお伝えをしてあります。皆さんのお手元のほうに、今回でいきますと、この基本構想のほうに渡っておるかと思ます。それから、ホームページ等にも公表がされてます。今回、最初のところで、その辺の話がちょっとできませんでした。お手元にありますが、これを基に進めていきますので、ご承

知おきください。先生、ご心配いただいております。

委員 いや。それで、例えば、その方針の中には、ICT環境が充実した図書館ということで、教育長がすごく盛んにICTのことを図書館の中に入れて、先進的な融合、デジタル融合何とかいうのをつくりたいとか言って公言されたんですけど、私たちの図書館づくりの中にはICTの一言も入ってないんですけど、よろしいんですかね。

事務局 分かりました。そこら辺もちょっと、すみません。

委員 どんだけの設備を入れるのか、私たち、図書館づくりのことについて意見言ったんですけど、ICTのことは何も話し合っていないんですけど。

事務局 すみませんでした。実はこの案も何かというと、今回でいくと、ソフトの面ではなくて、どちらかというところだとか環境だとか、住環境みたいなところになりますので、ちょっと学習スペースだとか、それから情報スペースについては、後ほどまた細かなところになるのかなということでは思っておるところですが。レイアウトだとか、そういったところの検討になるかなと思います。

委員 現在のところ提案がないということですね。ICT環境が充実した図書館というふうに基本構想。

事務局 この間のところでは、そういった話もあったかと思っております。

委員 はい。

事務局 今回でいくと場所についてなので、まず、大きなところでいきますと。はい。

司会 また、今後出てくる可能性があるという。

事務局 今後また、そういった意見出てきましたので、それは押していきたいなと思っております。特にレイアウトだとか、そういった設備のところになるかと思っております。

司会 よろしいでしょうか。では、あとほかに。ああ、はい、どうぞ。お願いします。

委員 私たち委員には、交流対象について事前に意見をくださいというふうに書面送られてきたんですけど、そこから保護者と話し合う時間が全く持てなかったんです。2週間の間だとどうしてもちょっと取れないので、できれば今日のこの会議に、次の議題でこういう意見交換会をしますよというふうに言っていたら、それなりにPTAで集まることも可能かなと思ったりもして。

それは、もう少しほかの委員が今どんな話をしているのかというのが、議事録では分かるんですけど、全然その進捗状況というもの。紙ベースの、すぐで送られてくる報告では分かるんですけど、じゃあ次、どんな意見を求められているのかというまでは、その委員さんしか分からなくて。それを私は理事もしてるんですけど、相談をされました。そういう意見交換を保護者である機会が欲しいというふうに委員さんの中からも出ておまして。その場所を設けるには、ちょっと時間が。やっぱりこの次の議題これですよって言っていただいてから2週間では、とても準備がこちらでもできなくて。今日も結局自分の意見を持ってきたというふうな形になってしまいました。

なので、準備はすごい大変だと思われるんですけども、ある程度の内容というか、が分かれば、随時お知らせいただくと、こちらもより多くの意見を持つ

てくることができるかなと思ってますので、お願いいたします。

事務局

ありがとうございます。

司 会

ありがとうございます。では、ほかにはよろしかったでしょうか。はい。ありがとうございます。貴重なご意見をたくさんいただきました。

では、3番目に移らせていただきますが、事前説明ということで、地域を学ぶ学習についてというふうにあります。よろしいですか。

事務局

(事前説明(地域を学ぶ学習について)について説明。)

司 会

はい。では、次の回に、このところが、議題になるということでよろしいですかね。

事務局

またちょっと送ろうと思うので。若干やっぱりちょっと今日見せたこととはずれが当然出てきますので。すみません、お願いします。

司 会

はい。ありがとうございます。そのほか、よろしかったでしょうか。

では、ありがとうございます。では、次回の教育活動、この部会についてということでお願いします。

事務局

次回なんです。一月後ぐらいをめぐりにしておるんですが。実は今回も日にちをさきに決めちゃったことで、何かというと場所が限られてくるんです。何かというと、やっぱり広い地域でやっていきたいので、前回、実は串原を、サンホールを押さえようと思ったんですが、埋まってしまっておったりすると、やっぱりなかなか苦しいところがあります。前は、この日ということで皆さんのご都合に、合うだろうなということで合わせさせていただいたんですが。ちょっと場所との関係もあるので、11月の13から22の間の、ちょっと広いんですが、その辺りで、次、この議題についてちょっと話し合う機会を設けたいと思うんですが。場所をお伝えするの。時間はこの時間でいいと思うんですが、場所と日にちをお伝えするのは、少し後になっても構わないでしょうか。それとも今日ある程度決めてしまったほうがいいでしょうか。場所は、その代わり、ちょっとどこになるか。会場が埋まると関係がありますので、どうかと思つるところなんです。ご意見いただければありがたいです。

委 員

19以降じゃないと歌舞伎が。

事務局

はい、分かりました。じゃあ、20から、すみません、22ぐらいのところで、ちょっとまた予定合わせながらちょっと入れさせてもらうということでもよろしいでしょうか。お面倒かけますが、よろしくをお願いします。

司 会

では、早いうちに日にちを決めていただいて、また連絡させていただくということで、20から22の間のところでよろしくをお願いいたします。

それでは、今日の議題につきましては終わりましたが、よろしいでしょうか。

それでは、長時間にわたり、熱い討議ありがとうございました。それでは、4回の委員会を終わらせていただきます。ありがとうございました。